

会員 **三宅 正夫**

現在、古道から御主殿にかけてきれいに整備され、昔の^{おもかげ} 倭を偲ぶよすがとなる。御主殿の滝には、城にあった女性等が身を投げた。一群の女性達は懷剣を胸に、緑に映える清流を朱色に染めたと言い伝えられている。

登山口手前の丘の上に北条氏照墓なるものがあるが、これは慰霊塔。その隣にあるのは家老（本丸で切腹）の墓。奥の方に散在していた多数の家臣共の墓碑は今はない。

昨年まで通っていたバスも廃止されたので、高尾北口から出るバスを利用するとしても、霊園前（霊園正門ではない）で途中下車して後は徒歩しかない。徒歩で行くとすれば、駅から高尾街道（多摩御陵と林野庁研修所との間の道）を抜け、霊園前バス停を左折、登山口まで約45分（約3 km）。更に本丸のあった山頂まで約40分。

